

北海道大学病院に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

【研究課題名】

Decision tree model の医薬品副作用発現リスク評価への応用可能性に関する研究 ～バンコマイシンの腎障害発現リスクの推定～

【研究機関名・長の氏名】 北海道大学病院 寶金 清博

【研究責任者名・所属】 井関 健 （薬剤部・教授／薬剤部長）

【研究の目的】

Decision tree model は企業におけるマーケティング等に活用されている予測・判別モデルの一つです。近年、本手法が医療の分野において応用可能ではないかと注目されており、疾患の予後予測に関する研究などが報告されています。しかし、医薬品による副作用発現リスクの推定においても本手法は有用である可能性が高いのにも関わらず、これまでほとんど研究がされていません。そこで今回、既に副作用発現のリスク因子について数多くの研究がされている「バンコマイシンによる腎機能障害」を例に、Decision tree model の有用性を検証することを目的とします。なお、バンコマイシンは、通常の抗菌薬には耐性を持った黄色ブドウ球菌などの感染症に用いられる抗菌薬です。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

2011 年 11 月～2016 年 1 月に当院において入院中にバンコマイシンが投与され、かつ投与期間内に当院薬剤部で治療薬物モニタリング(TDM; Therapeutic Drug Monitoring)が実施された 18 歳以上の方を対象とします。

○利用するカルテ情報

カルテ情報：バンコマイシンの投与量、血中濃度、併用薬、診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果など

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を

特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道大学病院 薬剤部 山田 武宏

〒060-8648 北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

電話 011-706-5754 FAX 011-706-7616